

令和6年度 目黒区校長会

I 活動方針・重点事項等

～支え合い、高め合い、絆を深める 校長会～

○支え合う 校長会

ブロック校長会、幹事校長会、定例・合同校長会を充実させ、それぞれが抱える課題を共有し、互いに助け合い、支え合っていく校長会を目指す。

○高め合う 校長会

様々な教育課題に関して、主体的に学び、課題の本質の理解に努めるとともに、重要な問題や課題については、しっかりと競技を重ねて解決策を導き出す。

○絆を深める 校長会

区教育委員会事務局、中学校長会、幼稚園・こども園長会、小P連などと連携を図るとともに、互いの良さを尊重し合いながらも小学校長会の総意を大切にす。

II 活動・取組

1 40分授業午前5時間制の推進

令和元年度から令和5年度まで、区立小学校15校が文部科学省の研究開発学校の指定を受け、1単位時間40分の授業を午前中に5コマ実施する創意工夫ある教育課程の開発を行ってきた。児童の集中力の高い午前中に学力の定着を図り、生み出した午後の時間を個に応じた指導や協働的な活動、地域における多様な体験活動への参加、教員研修や教材研究等に活用するなど、児童の学びの充実と教員の働き方改革につながる学校独自の創意工夫ある教育課程を編成している。

令和6年度は、その成果を生かして区立小学校22校において、40分授業にしたことによる「生み出した時間」を生かした学校独自の創意工夫ある教育課程の開発をさらに推進していく。児童一人一人が興味・関心や学習上の課題等に応じて柔軟に学びを選択する時間として自己選択学習の時間を設定し、小学校低学年段階から継続的に取り組む。自己選択学習の時間の確保・確実な実施をとおして、学校生活、家庭生活の質が高まるとともに、自己調整力の向上が図られると考える。

2 働き方改革の推進

様々な働き方改革が推進される中、本区では、土曜授業には必ず振替休業を設ける「学校完全週5日制」の実施、夏季休業日期間中の教育活動（夏季水泳指導、夏季学習教室、サマースクール等）の原則取りやめなど、独自の取組を行っている。

3 現職研修（選考対策、校長研修）

(1) 目的 学校経営を担う人材の育成、将来の教育管理職候補者の人材育成と発掘

(2) 研修内容・対象

①校長選考受験者研修【対象/3年目以降の副校長】

②副校長スキルアップ研修【対象/次年度以降の校長選考受験者】

③教育管理職候補者選考（A・B・C）受験者研修【対象/主幹教諭等】

④教育管理職候補者選考受験に向けた主幹教諭スキルアップ研修【対象/主幹教諭等】

⑤校長会研修【対象/校長】